



本日はよくお参り下さいました

ようやく暑さが落ち着いた今日この頃、いかがお過ごしですか。ラグビーW杯で日本がベスト8となったことで、日本中が明るい雰囲気にも束の間、今度は10月31日未明に首里城が火災で消失という衝撃のニュースが流れました。これ以上悲しい事件が起きぬようにと祈るばかりです。そんな中、心温まる出来事もありました。先日近所を歩いていたら、年配の女性が倒れていたの、声をかけると、腰が痛くて立てない、家族も電話にでないとのこと。困っていることがすぐにわかりました。家はすぐ近くということで、玄関先まで送っていき、すぐに失礼しました。数日後、その方が、たけのこと、じゃがいもを持って御礼にきて下さいました。ただ送っただけで御礼など、まさかのこと、本当に驚きましたが、とても嬉しかったです。きっと今日もどこかで、こんなやりとりがされているかもしれない、そう思うと、世の中が少し明るく見えるような気がします。今月も皆さまのご多幸をお祈り申しあげます。権禰宜 道子



11月

1日・15日 月次祭(つきなみさい)
皇室の弥栄と国家安泰、氏子崇敬者並に社会の幸福と平和を祈る。
3日 文化の日 戦前の明治節と平和と文化を強調した新憲法を公布した日が重なった祝日。晴れの特異日。



七五三の季節ですわ

8日立冬(りっとう) これから冬に入る初めの節。陽の光も一段と弱く、日足も目立って短くなる。

14・15日 大嘗祭(だいじょうさい) 豆知識参照
15日 七五三 全国の三歳の男女児、五歳の男児、七歳の女児が神社へ参拝する。7歳5歳3歳は体調が変化しやすい節目の年齢で厄払いが必要とされた事、7歳までは死亡率が高かったこと、親子ともども成長に合わせ自覚を持って生活することを大切にしていたことなどが由来としてあげられる。お祝いでもあるが厄払いの意味合いが強い。

22日 小雪(しょうせつ) 寒さもまだ厳しくなく、雪まだ大ならずの意味。冬の到来を目前に感じさせられる。

23日 勤労感謝の日 戦前の新嘗祭(にいなめさい) という祝日がもとになっている。今年は大嘗祭として行なわれるが、全国の神社では、例年通り新嘗祭が行なわれる。

天神さまの豆知識

大嘗祭

十一月十四日(木)・十五日(金)

天皇陛下のお仕事は国事行為の他に、皇室独自のご活動というものが、その中でも大切なことの一つが、五穀豊穡を祈ることです。なぜなら、天孫降臨のときに、国民を飢えさせてはならないというご神勅を、天照大御神から賜ったからです。以来、天皇陛下は、毎年秋に新穀を天照大御神をはじめ、神々に御自らお供えし、最後には陛下と神さまがそれを召し上がることによって、豊作に感謝する新嘗祭(にいなめさい)という神事を行なってきました。現在でも新嘗祭まで天皇陛下をはじめ皇室の方々は、新米を口にされることはないそうです。このお祭りは、春に行なわれる、豊作を祈る祈年祭と対になるお祭り、この二つのお祭りは、大祭とよばれ、全国の神社でも特に大事なお祭りです。さて、今回行なわれる大嘗祭は、新天皇が即位した年に行われる、いつもより盛大な新嘗祭のことですが、行なわれる日も、場所も例年とは異なります。

大嘗祭の為だけに建てられた、古代の工法そのままの、簡素な建物、大嘗宮(だいにじょうきゅう)場所は皇居・東御苑の旧江戸城本丸跡にある約九十メートル四方の敷地。に、全国から選定された、たくさんのお供え物と、亀卜(きぼく)と



前回の大嘗宮(だいじょうきゅう) ※今回もほぼ同じ形となります

いう占いによって決められた東と西二つの地方(今回は栃木県と京都府)のお米を備え、国家・国民の安寧と五穀豊穡を祈念されます。国をあげて行なわれる御一代に一度の重儀なのです。

今月の言葉

『神をまつる禮は、清浄を以て先と為し、まことを以て宗と為す』

編者未詳「造伊勢」所太神宮宝基本記」より
神をまつるための一番大事な作法は、心身、空間、場を清めることである。これは嘘偽りのない真っ直ぐな真心になるための手順で、神の御霊に近づくことになる。参考文献『神道のことば』武光誠監修 河出書房新社発行